

宇都宮市立緑が丘小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・基礎・基本を定着させるための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や単元の中で「めあて・まとめ・ふり返し」を必ず行い、授業の意図を明確にし、焦点化を図る。 ・考えたことや分かったことなどを、多面的に捉え、文章や式、図などで表現する力の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1～6年生までの「授業で習ったことを、分かりやすくノートにまとめている」という問いの肯定割合は、平均して約78.1%である。「新しく習ったことは、何度も繰り返して練習している」という問いの肯定割合は、平均して約68.9%である。 ・3～6年生の「ものごとをいろいろな視点や立場から考えている」という問いの肯定割合は、平均して79.4%である。
・知識・技能を活用する力を育成するための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを通して、集団の学びを個の学びに返し、学習をより深めることができるようにする。 ・話し合いや1人1台端末の活用を通して、多くの友達と交流しながら学習を進め、多角的な見方ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能に関する問題における正答率は、どの教科も市の平均を下回っている。知識・技能を活用した思考・判断・表現に関する問題の正答率も同じく市の平均を下回っている。 ・1～6年生までの「グループなどでの話し合いに自分から進んで参加している」という問いの肯定割合は、平均して約81.4%である。
・学ぶ意欲をもち続けるための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・互いに認め励まし合い、学びに向かう学級集団づくりを行う。 ・家庭学習の進め方を例示したり、努力している児童を賞賛したりする。また、個人に適した学習を行いながら自主的に学習を進めることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1～6年生までの「勉強して、いろいろなことがわかったりできるようになったりすることはうれしい」という問いの肯定割合は、平均して約95.3%である。 ・家庭学習の時間は1～4年生までは30分～1時間、5・6年生では1時間くらいが最も多い。3～6年生までの「自分で計画を立てて家庭学習を行っている」の肯定割合は、平均して約65.6%である。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・学力調査の結果は、4教科において、市の平均をほぼ下回っている。大きく下回る領域・観点もある。次年度は、基礎・基本が確実に身に付くように、復習用教材やAIドリルなどを活用し、漢字や計算、各教科の基本的な知識の定着を図りたい。また、各教科のデジタル教科書を活用しながら、学年ごとに系統立てて既習事項の復習を行ったり、未習事項を学ぶ意欲に結び付けたりしていきたい。さらに、話し合い活動を活発に行ったり、ICTを効果的に活用したりしながら、主体的・対話的な学びが実現できるようにし、深い学びを得られる授業を展開していきたい。